

ものがたり観光行動学会 第2回総会【議決事項】

開催日：2012年10月15日（土）11時50分～12時20分

開催場所：関西国際大学尼崎キャンパス

◆成立要件の確認

――総会開催の確認／白幡会長より総会開催の成立について確認

◆議事

1. 報告事項

- 1) 本学会の特徴と活動の基底について再確認／白幡会長から
- 2) 学会誌編集委員長の紹介／加藤編集委員長・副会長
- 3) 規約に係る事項⇒現規約中【※1】 【※2】部分の変更確認／李専務理事から
- 4) 日本学術会議 協力学術研究団体 登録に係る報告／同上
- 5) 事務局ワーク、シンポジウム記録、HPデザイン・編集管理、等々に係る現状について報告／同上
- 6) 来期以後の年次大会構想について報告／同上

○平成24年10月13日（土）テーマ：宗教と観光 会場：應典院（大阪地下鉄・谷町九丁目歩7分）

△平成25・26年

実施日：平成25年10月19日（土）／平成26年10月18日（土）

テーマ：国宝と観光 会場：九州国立博物館（福岡県太宰府）

：京都と観光 会場：京都の某有名寺院

注→テーマ（会場）のいずれが後先になるのかは未定

【上記中 ○=確定 △=実施日確定／テーマについてこの方向で検討を始める】

2. 審議事項

- 1) 第1期および第2期会計年度の決算報告・承認／奥坊理事から
- 2) 第3期事業年度の事業計画（以下、※）についての提案・承認／李専務理事から
- 3) 理事の1

増員について⇒白幡会長より【濱名篤】氏の増員を提案・承認

- 4) ※第3期事業年度の事業計画について、以下提案・承認

i 前提

・会費収入の拡充と安定を図ることが当該年度以降の事業計画推進の大前提となる。第2期では、第1期の会費納入実績から半減しているが、このようなことが続けば、学会の今後を見通すことはできない。役員の運営手腕を磨き高めると共に、会員各位の意識の共有が何より求められている。

ii 事業計画

①今年次大会予算の執行-----20万円

- ・大会校において実費清算されるので、この金額の全てが支出されるわけではない。
 - ・ただし、今大会の大会参加金額・受け渡し手法は改善要請が大きく、次回大会から見直す。
- 例) 大会参加金額の上限1千円程度/当日会場受付で支払う

②来期の年次大会に係る予算案-----15万円

- ・應典院の使用とパネラー謝金に係る費用など (+大会参加者の参加費を充当)

③学会誌第1号作成に係る予算の執行-----20万円

- ・学会への納入部数200冊(編集・デザイン・印刷費すべてを含む)
- ・シンカコミュニケーション留め置き分100冊(上記納入部数に係る費用充当)
- 会員@1500円/非会員@2000円でシンカコミュニケーションに直接申し込み・販売する(送料別途、クロネコ着払いに限る対応とする)。
- ・抜き刷りは50部単位、白黒表紙付き・綴じ加工=3万円にて対応可(申し込み・支払いは同上)

④学会誌第2号作成に係る予算案-----20万円

円

- ・その他条件は、学会誌第1号と同様

(3) 報告事項1. -5)に係る費用について(案)

①事務局ワーク-----5万円(年額)

額)

- ・担当人員の提供/専用電話と住所名義の提供/日常の通信費(主に電話)などの一切を含む

②シンポジウム記録費-----3万円

③HP作成・管理(一部に写真記録含む)-----3万円(年額)

額)

注)上記②③については、これまで予算計上・支払い実績ともゼロベース

(4) その他、費用発生時の心得について

①定常的な費用項目

- ・紙ベース案内時の送料※、コピー費、封筒など事務用品費/HPサーバー使用料 等

※の費用軽減を図るため、今後ともHPとeメールの活用を図り経費節減に努める。会員各位は、これに協力するため、事務局に対しeメールアドレスの提出・登録を徹底してほしい。

②その他

- ・この他、謝金等の一時払い費用が発生した場合は、これまでの支払い費用実績の状況を勘案し、その都度妥当な金額を算定し、理事会提案した上で、これを決定する。